

原動力 1. サステナビリティ経営の推進

ユアサ商事グループは、「誠実と信用」「進取と創造」「人間尊重」を企業理念として掲げ、地球環境との調和を機軸として、世界のいかなる国、地域においても双利共生の関係を重視し、企業活動を通じて、より人間らしい豊かな社会づくりに貢献してまいりました。

350年以上受け継がれてきた経営基盤をさらに進化させるため、企業理念に基づいた「サステナビリティ宣言」を制定し、持続的な社会の構築に向け積極的に貢献してまいります。

サステナビリティ宣言

1. 地球環境との調和

2030年度までにユアサ商事グループ全体のカーボンニュートラル化を目指すとともに、双利共生の関係を重視し、気候変動への対応とサプライチェーン全体での環境負荷の低減に努めます。

2. 良品奉仕の事業活動

創業から続く「良品奉仕」の精神に基づき、公正かつ堅実・誠実な商取引を行うとともに、「『つなぐ』複合専門商社グループ」として、ステークホルダーとともに安全・安心で豊かな社会づくりを推進します。

3. 人間尊重の経営

社員の個性と権利を尊重したダイバーシティ経営を実践し、社員一人ひとりが働きがいをもって成長できる企業グループとして発展してまいります。

サステナビリティ宣言に至るまでの議論

サステナビリティは「ユアサビジョン360」で目指す事業を通じた社会課題の解決そのものであると捉え、当社総合企画部と外部有識者による検討チームにて、マテリアリティ、サステナビリティ宣言内容、推進体制、アクションプランを検討してまいりました。

温室効果ガスの算定及び削減については、積極的に取り組むべく環境・エネルギーソリューション事業で培ったエネルギー管理ノウハウの社内展開について議論いたしました。

マテリアリティの特定プロセス

持続的な成長を維持していくために重点的に取り組む重要課題(マテリアリティ)について、以下の手順で特定いたしました。

1. 課題の抽出	当社企業理念及びステークホルダーとの関わりを基盤に、ESG(環境・社会・ガバナンス)への取組みを進め、ユアサビジョン360を達成するために必要な課題を事業部門別に抽出しました。
2. 優先順位付け	外部有識者との対話を通じ、サステナビリティの方向性を踏まえ重要性の高い項目を整理し、マテリアリティマトリックス(P8参照)を作成いたしました。
3. 妥当性の確認	取締役、上席執行役員が参加する経営会議にて議論を行うとともに、主要ステークホルダー及び社外取締役へのヒアリングを行い、妥当性を確認いたしました。
4. マテリアリティの特定	取締役会にて決議しました。

ステークホルダーへのヒアリングで得られた主な見解・助言

- ・レジリエンスや環境ソリューション、SDGsの取組みが先進的であり、さらに伸ばして欲しい。(取引先)
- ・実行プロセスや具体的な行動計画について、積極的な情報開示を求めたい。(取引先)
- ・マテリアリティについて違和感はない。レジリエンスは日本のキーワードとなっており、ユアサ商事の強みでもあるので今後の展開に期待する。(金融機関)



TCFDへの賛同

ユアサ商事グループは気候変動問題を重要な経営課題の一つとして認識しており、TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)への賛同を予定しております。TCFDの提言に基づき、気候変動が当社グループの事業活動に与える影響について、情報開示を拡充してまいります。



原動力 2. DXの推進

DX推進により「コト売り」のデジタル商社へ

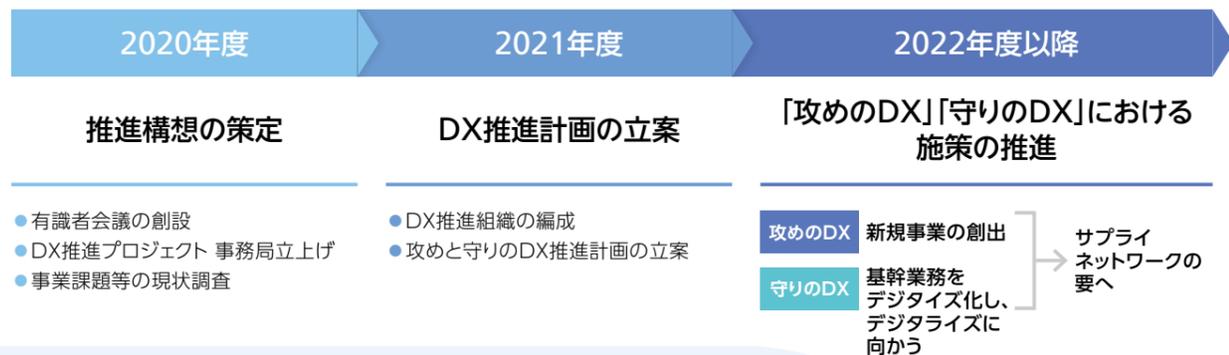
当社が持つ歴史や経験を可能な限りデータ化し、現在の仕入先様や販売先様のネットワークからの情報と市場のデータを集約し、AIにより分析することで、新たなサービスや当社独自の課題解決商品開発に結び付け、「モノ売り」から「コト売り」への変革を実現します。

データやIT技術を活用した他社にはない競争優位性の確立を目指してまいります。

データを起点にしたビジネスを推進

2022年度以降は「攻めのDX」、「守りのDX」それぞれの戦略に基づいた、2026年までにグループ・グローバル共通のIT基盤確立を目指します。

データを蓄積活用することで「データを起点にしたビジネス」を展開します。



DX推進体制の強化

DX推進メンバーを選出

全国より23名のDX推進メンバーを選出し、2021年9月に任命式を行いました。

営業部門と経営管理部門が一体となったプロジェクトにより、デジタル技術を活用した企業変革施策を検討し、ユアサ商事グループのDXを推進してまいります。



DX推進メンバー任命式で期待を述べる田村社長(中央)

株式会社シーエーシーナレッジを連結子会社化し、ユアサシステムソリューションズ株式会社が発足

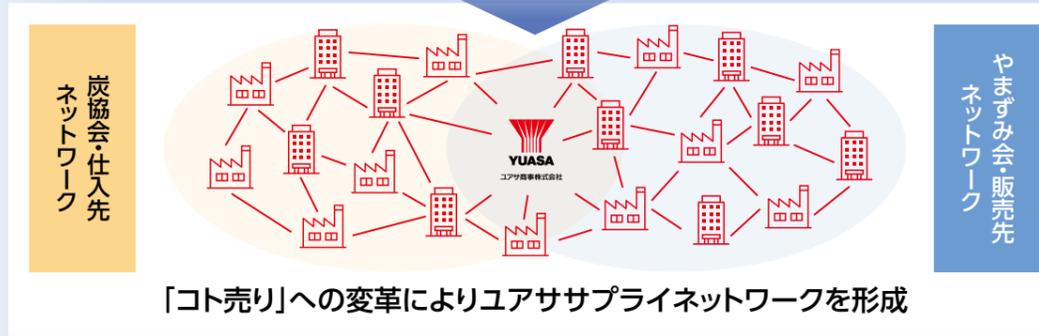
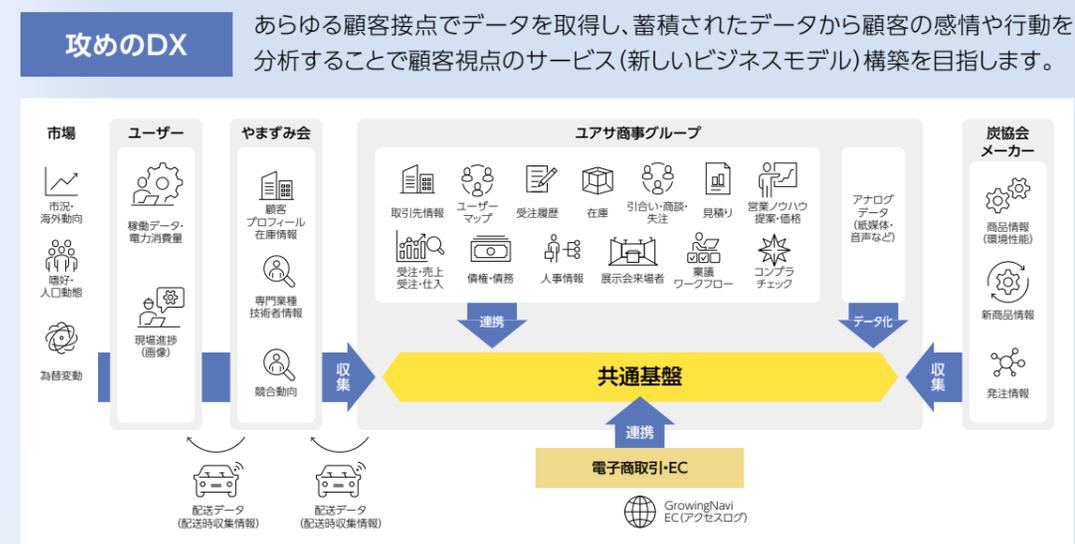
2021年2月に業務系システムの開発、保守、運用を手掛ける株式会社シーエーシーナレッジの連結子会社化を行いました。同社の連結子会社化により、当社グループのIT関連領域を強化し、DX推進の円滑化、ITデジタル投資の有効性の確保、IT関連事業の拡大等を図り、ユアサ商事グループの中長期的な企業価値向上につなげてまいります。

なお、2021年4月1日に「ユアサシステムソリューションズ株式会社」と名称変更し新たなスタートを切っています。

ITデジタル投資枠



ユアサビジョン360の達成に向けて「攻めのDX」「守りのDX」のフェーズに分け推進します。



守りのDX

<p>グループ・グローバルIT環境の整備</p> <p>ユアサビジョン360の下支えとなるシステム環境を整備し、グループ・グローバルで共通利用可能となるIT環境へ刷新します。</p>	<p>デジタル人材育成</p> <p>当社一丸でのDX推進に向けて、DX推進担当を選出。データを起点にしたビジネス展開に向けて、デジタル人材を育成します。</p>	<p>基幹業務刷新</p> <p>業務を支えるレガシーシステムを刷新し、各システムに分散した業務をシームレスにつなぐことで、業務効率化を促進します。</p>
--	--	---